

チャペルにフライダルサロン

フレンチにビュッフェ洋食

# 大改装 女性客呼び込め

京都センチュリーホテル



ロビーを改装して新たに設ける洋食店のイメージ画像。中央には高さ4.8mの照明、壁面には西陣織のタペストリーを配置する

京都センチュリーホテル(京都市下京区)が若年層の顧客を呼び込む施策を相次いで打ち出している。今春に婚礼施設を改装、11日には新設・改装したレストラン3店を一挙にオープンする。今後も客室改装を予定しており、2014年度までの一連の施策に計13億円を投じて集客力の向上を図る。

レストランの新設・改装ペストリーを設置する。改装は4億円を投じ、2階 フランス料理店(50席)ロビーに新たに設ける洋食店は、結婚式披露宴も行える食店(99席)はビュッフェの明るい開放的な空間にエ形式を採用する。高さ改装。精密切削加工の川4・8mのスタンド照明 並鉄工(南区)が手がけ、を置き、壁面には市内の円山公園(東山区)のし地図を描いた西陣織のタペストリーを題材にしたアル

## 京阪、旗艦店に 13億円を積極投資

ミ板絵画「刻鋸」を飾った。鉄板焼店(33席)も内装を落ち着いた雰囲気と一新した。

開業31年の同ホテルは、昨年7月に林原グループから京阪電気鉄道に経営権が移った。京阪は京都にあるグループ5ホテルの旗艦ホテルとして位置付け、積極投資している。

現在の主要顧客は60歳以上が多く、立地する京都駅周辺や四条烏丸などにホテル進出が相次ぐ中、特に20〜30代の女性客の誘客強化が必要と判断。ホテル嵐亭(右京区)売却で得た資金を生かし、幅広い年齢層に親しまれるホテルへの転換を目指す。今年1〜4月にはチャペルとフライダルサロンを改装し、本年度の婚礼成約件数が前年度比6割以上増えた。今後は全客室220室のうち4〜5割を改装するほか、新婦の支度室新設や玄関改装などを計画している。(大西保彦)